

横暖ルーフα

| 工法 | 既存屋根材 |
|------|------------------------|
| 重ね葺き | セメント系新生瓦 アスファルトシングル |

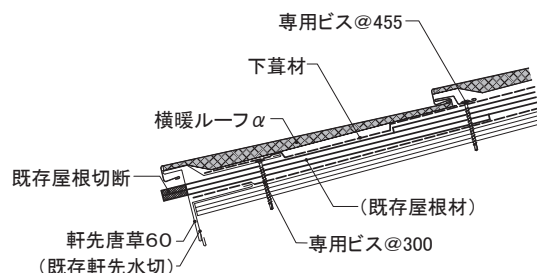
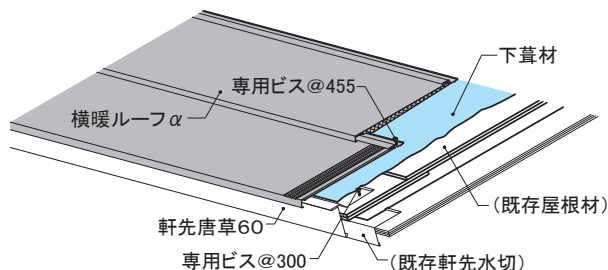
4) 軒先部

① 軒先唐草60

- 既存屋根材の軒先が揃うように既存屋根材を切断します。

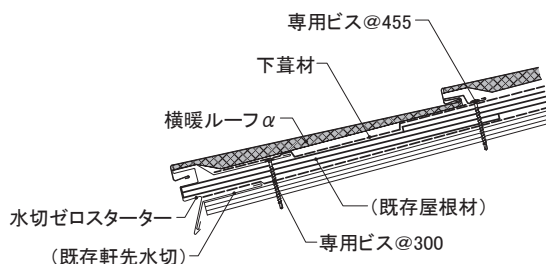
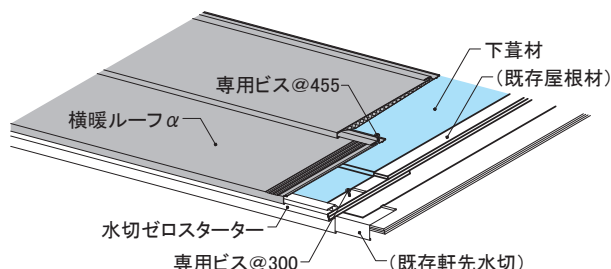
※ 軒先面を切断せず施工することも可能ですが、その場合、既存雨樋の取付位置を横暖ルーフαにあわせて移動させる施工が別途必要となります。

- 軒先唐草60は専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。
- 図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実を軒先唐草60に差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。



② 水切ゼロスターター

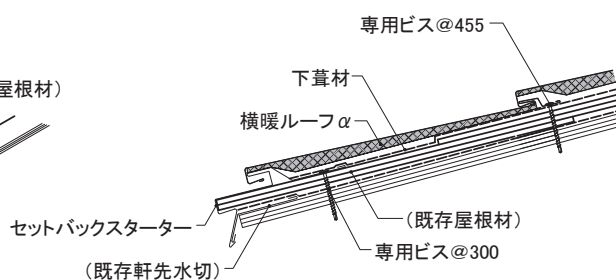
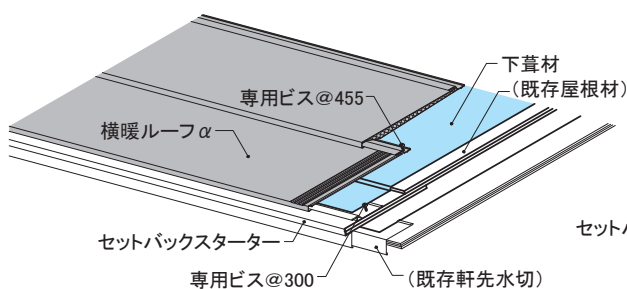
- 既存屋根材の軒先に水切ゼロスターターを差し込み、専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。
- 図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実を水切ゼロスターターに差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。



③ セットバックスターター

- 既存屋根材の軒先にセットバックスターターを差し込み、専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、300mm以下の間隔で野地板に留め付けます。
- 図のように下葺材を張り、横暖ルーフαは軒側実をセットバックスターターに差し込み、棟側実を専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。

※ セットバックスターターを使用する場合は、けらば包み60、けらば水切110(85)をご使用ください。



設計
外壁
リフォーム

事前
調査
の方法

標準
施工
法
外壁
リフォーム

モエ
ン
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
重ね
張り
工
法

モエ
ン
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
張り
替え
工
法

セ
ン
タ
ー
サ
イ
デ
ィ
ン
グ
重ね
張り
工
法

設計
屋根
リ
フ
ォ
ー
ム

セ
ン
タ
ー
ル
ー
フ
重ね
葺
き
工
法

アル
マ
重ね
葺
き
工
法

参考
資料